

電通共済生協の 加入促進について

(一) 申込書を並べて:

- ① 電通共済生協による退職者会員への加入促進キャンペーンの取組みで、各会員の皆様へ「現在の加入口数」「金額」が記入された各種申込書が送付されます。沢山の資料が入っていますので、混乱を避けるために、まず、「制度運用見直し加入促進の留意点」(右上辺に2の番号がある)を取り出して下さい。次に、火災共済(すまいる)・自然災害共済(おまかせ)の申込書と、交通災害共済(しくなる)の申込書及び生命共済(あいあい)申込書、そしてあいあい50医療特約制度の申込書を取って並べて下さい。
- ② 前1項の申込書のいずれかに加入されている会員は、今回増口又は、新規共済への加入についての御協力をお願いします。
- ③ 火災・自然災害・交通災害のいずれにも加入していない会員は、生命共済と50特約制度のみへの新規加入又は、増口が可能です。

- (二) 申込書の返送について
- ① 共済生協のすべてに加
- 入していない会員、いわゆる会費年間二〇〇〇円支払のみの会員は、返送しなくて良い。
- ② 今回から生協に申込んだ会員は、申込書の最後のページ「本人控」を取り除き、残りすべてを返送することになりました。共済内容に変更がなく自動継続の方も、必ず返送して下さい。返送用の封筒(青色)に、宛先(浦添市の退職者の会 沖縄県支部協の住所)を記入して、「切手」を貼って返して下さい。
- ③ 返送は、七月末日には支部協に届くようお願いいたします。

- (三) 既加入者への留意点について(記入上の注意)
- ① 火災共済や交通災害共済に加入している会員は、会員の親族の加入資格が法律により変りました。(一)で取り出した「制度運用見直し加入促進の留意点」(右上辺に2の番号あり)をよく読んで、加入口数の変更や火災共済の他保険会社への加入等「告知」義務についてチェックして下さい。
- (四) 各種生協掛金及び会費の支払いについて
- ① 八〇%の会員が、生協掛金や退職者の会の年間会費二〇〇〇円の自動引落しを手続き済みです。従ってこれらの会員には、「郵便振込用紙」を入れていません。自動引落し手続き済みの会員は、交通災害共済(しくなる)申込書の右側のページに掛金一覧表があり、下辺に引落しとこの期日と合計金額が記載されています。従いまして、指定口座の通帳に必要費用が残っているかどうかの確認をお願いします。
- ② 「自動引落し」の手続きのない会員には、「郵便振込用紙」を入れてください。この用紙で諸費用の納付を、九月二〇日までをお願いします。
- ③ 納付期日を過ぎても納金しないため、加入資格がなくなり、受け取るべき補償金が得られなかった事も発生しています。納付期日前までの早めの納付について御協力をお願いします。

制度変更による記入変更の例

ア 借家の会員は、建物(住宅)への火災共済の加入はできません。家財についてのみ加入できます。

イ 交通災害の親族の加入資格は、同一生計が条件です。

- ④ 郵便振込みの会員については、後日改めて「自動引落し」手続きの協力要請文書と「用紙」を再度送付しますので、ぜひ御協力をお願いします。
- (事務局長 長嶺律雄)

今帰仁上りの参加者募集について

私達の祖先は、各門中がお金を出しあって祖先への感謝の気持ちをあらわし、かつ農業や漁業等の豊作を祈って、グスク跡・泉井・墳墓・御嶽・ノロ殿内等を回りました。首里城から南部の斎場御嶽への東回りは有名ですが、今帰仁上りは未経験者が多いと思われまます。

今回、那覇歴史散歩グループのサークルでは、左記の通り今帰仁上りを計画しました。参加者を募集します。

- 一、名称 今帰仁上りの歴史散歩
- 二、日時：二〇〇八年七月二七日(日) 午前九時出発
- 三、出発地：県庁前広場にてバス乗車します。那覇有名護国高速バスの各停留所(例えば、幸地や琉大前、池武当等でも乗車可能です)
- 四、講師：阿波根直孝氏 (NTTOB)
- 五、費用：一人当り三〇〇〇円(弁当代(飲物付)、往復バス代)

会員の訃報について
次の会員の方が亡くなられました。慎んでご報告し、故人のご冥福をお祈りします。
古堅宗英(二〇〇八・五・一四)(宜野湾市在)

ス代・資料費込み)
小学生(六年) 以下の子供は二〇〇〇円とする。
六、コース：県庁前広場：高速に入る：今帰仁歴史文化センター：今帰仁グスク：プロキのイッピア：テグチ墓：赤御墓：ウニシ墓(具志川家の先祖)：モモジヤナ墓：源為朝上陸地(?)で一八時那覇到着の予定です。
七、申込先と申込締切り日
①申込先：退職者の会沖縄県支部(八七〇七二〇二) 長嶺律雄(〇九〇二七二二六四八六)
②申込締切：七月二四日(木)
参加申込みの際は、氏名・人数・電話番号を必ず述べて下さい。FAXでの申込みは八七五七四五〇へお願いします。四〇名で締切りますので、御了承願います。

外に新規後年度負担金として一兆八千億円がある。又、別ワクで基地対策の推進費用として、約四千五百億が認められています。総計すると約七兆円以上の金(平成一九年度も同額)が、湯水のように使われている。主たる政党がこの莫大な金を、老人医療費や厚生福祉や教育予算に回せとなぜ言わないのか、率先して国民に訴え、諸政党との共同行動を組まないのか不思議でならない。

世界一の教育立国を語る
PISA II 国際学力調査で、好成绩のフィンランドから教育担当専門家の御夫妻が来沖。会員は、もうお子さまではなく孫の世話であけてくれているでしょう。フィンランドでの子育ての状況と、学校・家庭での教育の在り方のお話とシンポジウムが開催されます。孫の教育について関心をお持ちの方は、いかがですか。
時：七月二三日(水) 一三時半から一七時まで
所：琉球新報ホール (会費一五〇〇円)

事務局だよ
○前回防衛省の委託契約業務で、約三三億の見積書が一八億円で下がったと報告しましたが、これは特異な例で、ほとんどは業者提出とおりの契約がなされていると理解して良いと思われまます。
○防衛省の平成二〇年度の予算は約四兆七千億円で、その